



発行●**狛江市政策室**  
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5  
☎3430-1111 FAX3430-6870  
Email=wacco@city.komae.lg.jp  
編集・制作●**特定非営利活動法人 k-press**  
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3  
ル・ミリオン・イイダ3階A号  
☎3430-6617 FAX3430-6743  
Email=wacco@k-press.net

2024  
令和6年

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。  
お問い合わせ・ご意見は狛江市政策室へ

## 多摩川など豊かな自然環境

### 自然体験活動や食育に積極的に取り組む

狛江第六小学校は駒井町、猪方などの人口増で狛江第三小学校の児童が増えたため、三小から分かれて市内で6番目の小学校として昭和46年に320人で開校、53年目を迎えた。開校当時、周辺は畑や果樹園が広がっており、現在も田園地帯の面影を残している。多摩川も近く、恵まれた環境を生かして自然体験活動や食育に積極的に

取り組んでいる。「子供たちが自信を持ち登校する学校」をキャッチフレーズに、「できた」「わかった」を実感できるように子どもに応じた指導方法の工夫改善を進めている。



シンボルツリーのクスノキがそびえる中庭と校舎



川流れ体験



水辺の楽校

●**多摩川とのふれあい教室**●4・5・6年生は調べ学習。また、3年生を対象に水辺の楽校と保護者らの協力に着衣と救命具を付けた川流れ体験を実施している。今年はライフセービング協会も協力し9月に行う。

●**地域の農家との触れ合い学習**●地域の農家の協力で1・2年生が枝豆、空豆のサヤ抜きやトウモロコシの皮むきを体験。農家の指導を受けながら学校の畑で野菜を栽

培している。マインズ農業協同組合の協力で3年生は近隣の農家の畑に出向いて枝豆の種まきや収穫を体験する。

●**校内マラソン大会**●開校以来続く全児童が参加する冬の行事で、多摩川河川敷と堤防上の道を走



マラソン大会



▷6◁

## 狛江第六小学校

駒井町1-21-1  
辻勘助校長、教職員73人、児童18学級570人、卒業生5,279人  
敷地10,528㎡、校舎＝鉄筋コンクリート造り3階(一部4階)建て(普通教室18室、特別教室6室)

(4月1日現在)

辻校長プロフィール▶  
世田谷区の喜多見小学校を皮切りに、特別支援学級を含め都内の小学校に勤務、令和5年に初めて校長として六小に就任。



る。コロナ禍の時は校内で実施したが、昨年は4年振りに川治いを走った。

●**クラブ**●バドミントン、内スポーツ、サッカー、ダンス、音楽、美術、ICT(タブレット利用で制作)、手芸、科学、室内レクの10クラブがある。

●**シンボルツリー**●校門に面した中庭には創立10周年を記念して植えられたクスノキがそびえ、学校のシンボルとして親しまれている。

●**芝生広場**●校内にある駒井学童保育所横と校舎南側に芝生が植えられ、低学年の子どもたちがのびのびと遊んでいる。

●**周年記念アートプロジェクト作品**●校舎の昇降口や階段、窓などに多摩川の自然をテーマにした絵が描かれている。空間デザイナーで卒業生の保護者でもある持木慎子さんの指導で創立40周年と50周年に当時の在校生らが創作した。



絵が描かれた階段

●**狛江第六小学校合唱団**●3年生以上の希望者が入れる令和4年に結成された合唱団。音楽教師の指導で朝と授業のない土曜日に練習している。校内で発表するほか、南部地域センターのイベントや都のコンクールなどにも参加、今年、初夏の音楽会にも初めて出演した。



初夏の音楽会に出演した六小合唱団

○**六小おやーず**＝平成17年に「六小おやーず」として活動を開始した。令和5年に両親とも参加できるよう現在の名称に変更した。卒業生の保護者も参加する地域ネットワークとなっており、現在約60人が登録している。主な活動は、入学式の案内や写真撮影などのほか、運動会、マラソン大会、展覧会、学芸会、周年イベントなど学校行事の手伝いをする。自転車、トライアスロン、スキーなどのサークル活動も盛ん。

狛江古代カップ多摩川いかだレースには学校対抗、レディースジュニアの部などに毎年3～5艇が参加、好成績を残している。企画部門のい



優秀企画賞に選ばれた「狛六★真夏の遊園地」

かだは、児童のアンケートを基におやーずが中心となって制作、今年は遊園地をテーマにした「夏★真夏の遊園地」が優秀企画賞に選ばれた。

○**かがく実験屋台村**＝第二育成委員会が各校PTAやおやじの会の協力で二中学区の保護者や二中の生徒、元教員などが講師となり様々な科学の実験を用意、児童が好きな教室で実験を楽しむ。コロナ禍で中止していたが、今年、5

年振りに復活した。  
○**餅つき大会**＝同小KoKoA(放課後子ども教室)が冬休み前に催すイベント。地域の人から道具を借りて、子どもや教職員、六小おやーず、PTA、地域の人と一緒に餅つきや昔遊びを楽しむ。



餅つき大会

### わたしの六小 図書室、音楽室が人気

6年生(高橋優太、岩井杏羽、岩崎朱希、山本凜空、家田歩楓、根岸竜琉:敬称略・写真)

**好きな場所**＝たくさんある本が見つけやすく並んでいて、休み時間などにも静かな空間で読むことができる図書室。バレーボールなどスポーツができる体育館。気持ちが落ち着く教室。大きなクスノキがある中庭。いろんな楽器とふれ合い、演奏すると心が晴れやかになる音楽室。高さが違う鉄棒がある校庭。  
**人気の給食**＝具がたくさん入ってルーの風味が良いカレーライス。具材がいろいろあっておいしいしょうゆラーメン。枝豆がアイスの中に入っている枝豆アイス。サラダにごまだれの味が加わったごまだれサラダ。大きくてボリュームがあり、外はパリパリ、中はジューシーでとても食感が良く、甘いタレと合うジャンボギョウザ。キャベツなどたくさんの野菜と麺にしっかりとみその味がするみそラーメン。



図書室で

### 元・六小生から チャレンジ精神育む環境

車いすフェンシング  
笹島貴明さん

平成15年に狛江第六小学校を卒業し、その後狛江市で過ごしました。ちょうど学習内容に変化がある時期で様々な内容の授業を受けたことも記憶にありますが、放課後に多摩川で友達と遊んだことも思い出深いです。現在やっている車いすフェンシングは当初趣味として始めて、いつの間にか仕事になったのですが、六小での色々な経験や豊かな環境で自由に過ごしたことで、何事にもチャレンジする精神が醸成されたのかなと思います。

六小は多摩川も近く、プールや校庭も広く、のびのびとした環境で様々なことを学べる学校だと思います。楽しくいろいろなチャレンジをしてみてください。

〈プロフィール〉平成2年シंगाポール生まれ。帰国後狛江市で育ち、狛江第六小学校卒業。慶応義塾大学卒業、株式会社インターネットイニシアティブ所属。脊髄損傷を受傷後に車いすフェンシング開始、日本代表としての競技活動や講演活動を行う。

